

桜

前夜祭疑惑

費用補てん 虚偽答弁

安倍氏証人喚問を



「桜」前夜祭で壇上に立つ安倍首相(当時)=2018年4月、自民党・北村経夫参院議員のフェイスブックから(画像は一部加工)

JNN12月5、6日調査

安倍前首相の後援会主催の「桜を見る会」前夜祭。会場となったホテルへの支払額が参加者から集めた会費(1人5千円)を上回り、その穴埋めを安倍氏側がしていました。補てん額は2019年までの5年間で約900万円。公職選挙法は、選挙区内の有権者への寄付を禁じており、補てんが抵触する可能性は濃厚です。

安倍氏は国会で「事務所負担は一切ない」など1年間にわたって虚偽答弁してきました。国会をないがしろにしてきた問題は、国会でしか解決ができません。安倍氏の証人喚問、真相究明は国会の責任です。

政治とカネ 究明を

吉川元農水相 ^{500万円} 収賄疑惑

吉川貴盛元農水相が広島県の鶏卵業者から、大臣在職中に計500万円を受け取っていた疑惑。政治資金収支報告書に現金の収受の記載がないうえ、大臣による収賄という重大疑惑です。吉川氏は菅政権中枢に近い重鎮です。

菅首相も不記載

高級ホテルで会費格安パーティー

菅首相にも「政治とカネ」をめぐる疑惑が



浮上。14年4月、横浜市内の高級ホテルで1人1500円の会費を集めてパーティーを開き、2500人分、計375万円の会費を集めたのに政治資金収支報告書に収支を記載していなかった—『週刊ポスト』(12月11日号)が報じました。

この問題では高級ホテルの宴会場で1人1500円のパーティーを開けるのかという指摘も。

「しんぶん赤旗」日曜版の調べでは菅首相が同じホテルで会費1000円で開いていたこともわかりました(12月6日号で報道)。菅事務所が補てんしていたとすれば「桜」前夜祭と同じ構図です。

学術会議 人事介入

首相答弁拒否51回 論拠崩壊

学術会議から推薦された新会員6人を菅首相が任命拒否した問題。「お答えを差し控える」—臨時国会で菅首相が答弁拒否した回数は51回にも(「しんぶん赤旗」調べ)。首相は任命拒否の理由を、「総合的、俯瞰(ふかん)的な立場」→「多様性の重視」→「事前調整がなされていなかった」とクルクル変え、ついに答弁に立てなくなりました。

任命拒否反対の声明を出したのは1004の学協会(学会・協会)のほか110以上の宗教・文化芸術団体など。国民の権利・利益を侵す大問題。解決方法は、任命拒否の撤回以外にありません。

日本共産党